

報道機関各位

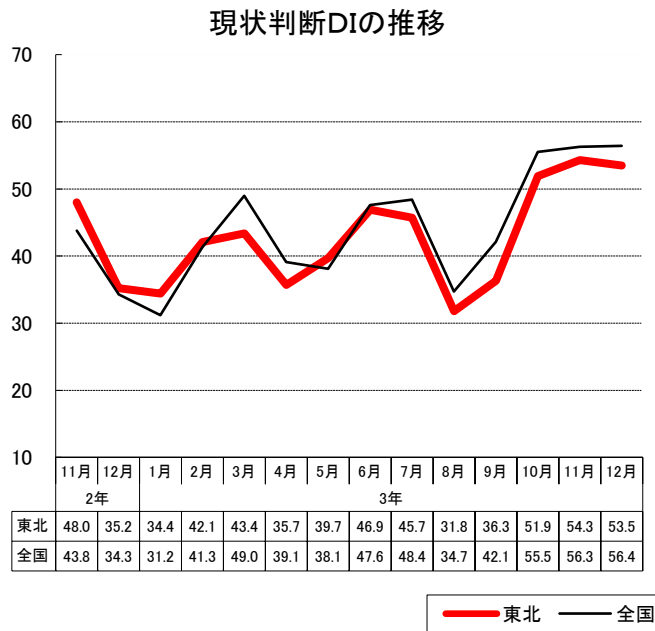
公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和3年12月 東北分
 (東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和3年12月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

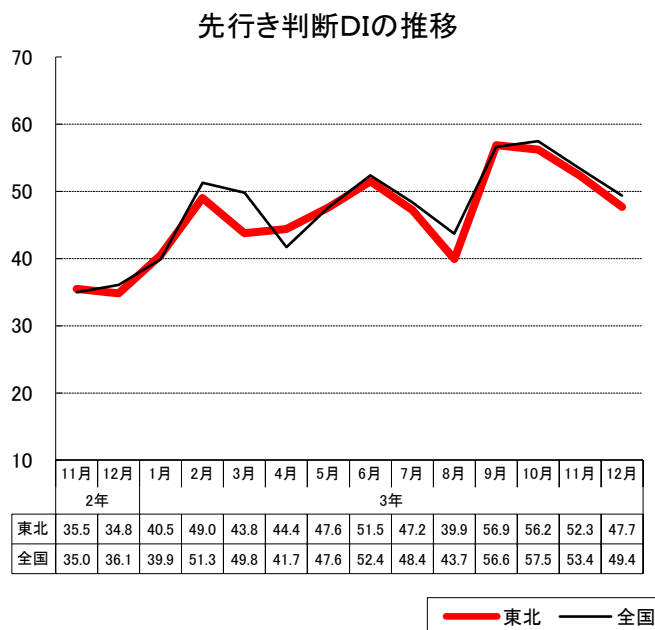
(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「53.5」と4か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲0.8ポイント低下した。



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

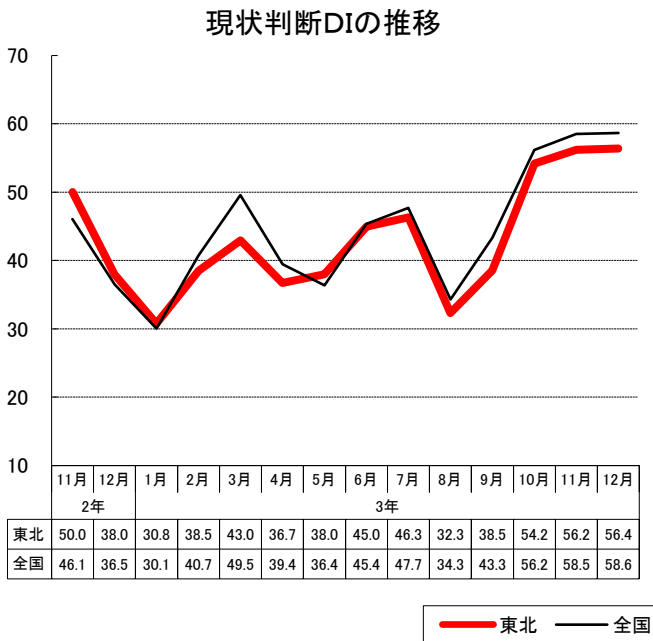
先行き判断DIは「47.7」と3か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲4.6ポイント低下した。



2. 原数値

(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「56.4」と4か月連続で前月を上回った。前月と比較し+0.2ポイント上昇した。



○家計動向関連…一般レストラン、観光名所・遊園地・テーマパーク、観光型ホテル・旅館等の業種でDIが前月を下回ったが、スーパー、コンビニ、住関連専門店等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「55.4」(+1.1)と、4か月連続で前月を上回った。

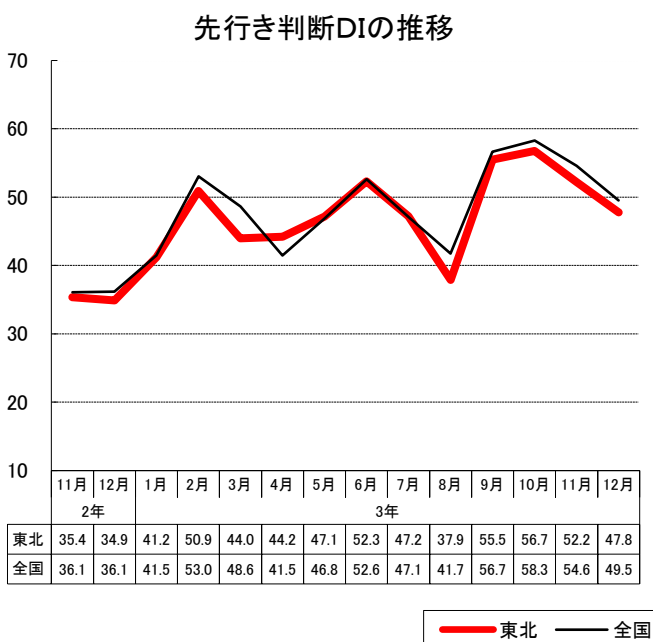
○企業動向関連…司法書士・経営コンサルタント・会計事務所、建設業、出版・印刷・同関連産業等の業種でDIが前月を下回ったが、土石製品製造販売、電気機械器具製造業、金融業等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「56.6」(+1.5)と、2か月ぶりに前月を上回った。

○雇用関連…DIは「62.5」(▲7.2)と、3か月ぶりで前月を下回った。

(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断DIは「47.8」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲4.4ポイント低下した。



○家計動向関連…乗用車・自動車備品販売店、スーパー、住関連専門店等の業種でDIが前月を上回ったが、一般小売店、観光名所・遊園地・テーマパーク、衣料品専門店等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「45.7」(▲4.7)と、3か月連続で前月を下回った。

○企業動向関連…輸送用機械器具製造業、建設業、電気機械器具製造業等の業種でDIが前月を上回ったが、輸送業、食料品製造業、農林水産業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「51.5」(▲2.9)と、2か月連続で前月を下回った。

○雇用関連…DIは「54.2」(▲5.0)と、2か月連続で前月を下回った。

<参 考>

■D Iの推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	2年		3年											
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
東北現状	50.0	38.0	30.8	38.5	43.0	36.7	38.0	45.0	46.3	32.3	38.5	54.2	56.2	56.4
家計動向関連	47.7	35.1	27.7	35.4	40.5	32.6	35.1	42.9	43.6	29.6	36.8	51.8	54.3	55.4
企業動向関連	56.6	44.1	34.8	45.6	50.8	46.3	41.2	49.3	50.8	37.5	43.4	56.6	55.1	56.6
雇用関連(参考)	52.5	45.0	42.5	45.0	45.0	45.0	50.0	50.0	55.0	40.0	40.0	64.5	69.7	62.5

（2）先行き判断D I

	2年		3年											
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
東北先行き	35.4	34.9	41.2	50.9	44.0	44.2	47.1	52.3	47.2	37.9	55.5	56.7	52.2	47.8
家計動向関連	32.4	32.4	41.3	50.8	45.0	43.3	45.7	50.2	43.2	36.6	53.9	53.7	50.4	45.7
企業動向関連	44.1	42.6	43.2	54.4	40.9	46.3	47.8	54.4	55.3	43.8	56.6	58.1	54.4	51.5
雇用関連(参考)	38.8	36.3	37.5	45.0	42.5	46.3	55.0	61.3	57.5	36.3	62.5	72.4	59.2	54.2

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和3年12月25日～31日

回答者数 168/189名、回答率 88.9%（全国 1,796/2,050名、87.6%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

<別紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（１）現状判断理由

○「良くなっている」

（一般小売店[酒]）…県外からの注文が多くなっている。

（百貨店）…決して購買意欲が高いとはいえないが、月を追うごとにグループや家族連れでの来店が増加している。少しずつではあるが外出用の衣料品や身の回り品、靴等が回復している。

（金融業）…県による人流抑制施策が9月に終了して以降、宿泊・観光関連が回復基調にある。原料や部品の調達難が一部業界に影響を与えているが、年末に向けて個人消費の盛り上がりが見られる。

○「やや良くなっている」

（スーパー）…ふだんの客単価はほとんど変わらないが、年末の予約商品は前期を大きく上回るペースで予約が入っている。帰省客が前年より多いことによる動きとみられる。

（コンビニ）…地域独自のクーポン券発行があり、購買力が高まっている。また、新型コロナウイルス感染の収束感も、外出行動に反映したようである。

（乗用車販売店）…車両遅延が続いていた数か月前と比べ、直近では登録台数の戻り傾向が顕著である。

（住関連専門店）…来客数が一時期より増加しており、小物仏具の販売が順調である。県内の新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきて、高齢者が買物に動いた結果とみている。

（その他専門店[酒]）…最悪の状態からは脱したとみられ、飲食店の数字は若干上向いている。しかし、一般消費が逆に低調で全体的に回復度合いが低い印象を受ける。

（その他小売[ショッピングセンター]）…11月から来客数がかかなり戻ってきている。クリスマスから年末にかけての消費については、もう1段上乘せしきれていないという感じがある。

（一般レストラン）…例年よりは大人数の宴会という形での来客は少ないが、少人数の客は来てくれている。

（タクシー運転手）…新型コロナウイルス新規感染者数が激減し安定している状況のなか、年越しの時期に入り、少人数での旅行、年末必需品の買物などに老若男女の動きが活発化してきている。よって、タクシー利用についても営業回数や1乗車単価が増加傾向にある。

（競艇場）…大きなレースがあったため来客数が非常に増えた。売上金額はさほど大きくはないが、ここ数か月のなかでは一番良くなっている。

（農林水産業）…J A出荷分のりんごについて一部が精算されてきたが、前年よりも2割程度高くなっている。

○「変わらない」

（家電量販店）…白物家電などの単価は前年と変わらず、動きも買換え需要を中心に平年並みである。暖房商品など季節商材は年末にかけてやや動きが出てきたが、テレビなど黒物家電は前年比95%程度と実績が悪くなっている。

（観光型旅館）…3か月前の9月は休前日と平日の動きにはっきりとした差が出ており、休前日だけ宿泊者が多かった。12月も同様の傾向が見られる。

（通信会社）…年末キャンペーン等の加入促進イベントを展開しているが、反応が余り良くない。チラシや新聞広告にも予算を大々的に投入しても新規加入者が伸び悩んでいる。人の動きは少しずつ活発になっているが、量販店の店頭や電話での問合せは少ない。

（観光名所）…団体の予約は新型コロナウイルス新変異株の拡大とともに若干減ってきている。2～3人で動く個人客は増えてきており、良い傾向である。ただし、良い悪いの判断は難しいところである。前年の今頃まではG o T oキャンペーンのクーポンが利用されて売上は良かったが、現在はクーポン等がないため、

前年の売上には到達していない。

- (その他住宅[住宅展示場運営会社])…前年と前月のいずれとの比較でも、来場者数、新規率に変化はない。
- (出版・印刷・同関連産業)…受注量の回復、販売量の改善がない状況下で、原価、仕入れコストの価格交渉が先行している。輸送コストの上昇とあいまって売上が伸び悩み、経費負担が重くのしかかっている。
- (電気機械器具製造業)…取引先との受注量や受注金額に大きな変動がない。
- (経営コンサルタント)…年末や正月といった季節特有の消費の盛り上がりが見えない。
- (人材派遣会社)…10月に求人数がピークを迎え、そこからは横ばいである。
- (職業安定所)…求人数だけでいえば前年同期を上回り、製造業についてはコロナ禍前の水準に戻りつつあるが、それに応じられる求職者がおらず労働市場が停滞している。職業相談で来所している人の数は夏場よりも減っているものの、企業の採用意欲が高いため就職件数はそれほど下がっていない。
- (民間職業紹介機関)…前月同様、人材を求める企業からの問合せが定期的にある。

○「やや悪くなっている」

- (商店街)…少し安定してきていた新型コロナウイルスの感染が微増になり、年末年始がまた自粛傾向になっている。
- (旅行代理店)…修学旅行を中心とした教育旅行団体は出発日変更後の案件が予定どおり出発しているものの、一般団体は前月同様に動きがない状態が継続している。県民割を利用した県内宿泊予約についても個人客の動向は前月比マイナスの傾向にあり、旅行業での景気は下向きにある。
- (その他サービス[自動車整備業])…石油製品や鉄製品など様々な品物の値上がりにより、年末にもかかわらず売上が伸びない。
- (設計事務所)…半導体不足や海外からの輸入部材、建材の遅れに伴い、工事期間の延長などが発生し始めてきた。
- (土石製品製造業)…今年は前年比ではほぼ毎月マイナス10%で推移しており、需要の盛り返しがみえない。
- (建設業)…今月は主だった受注がなかった。

○「悪くなっている」

- (その他非製造業[飲食料品卸売業])…取引先は県内や一部近隣県の地場産品を扱っている中小企業や零細企業のスーパーだが、量販店やディスカウントストア、コンビニエンスストア、ドラッグストアの出店で非常に苦慮しているのが現状で、非常に景気が良くないと言っている。

(2) 先行き判断理由

○「良くなる」

- (その他小売[ショッピングセンター])…客の消費購買欲求はかなり高まってきている。支援金の配付やボーナス等の後押しもあって、年末初売りの消費拡大がかなり期待できる。さらに、春に向けても後押しをしていけば良くなるとみている。しかし、新型コロナウイルスの感染状況によっては大きくマイナスになることも考えられる。
- (建設業)…年度末までに受注が見込まれている案件があるため、景気は上向くものと推測している。

○「やや良くなる」

- (乗用車販売店)…車両生産の見通しが具体的に立っているので、現在の納車待ちも急速に回復するとみられる。収益も続いて回復するので見通しは明るい。
- (住関連専門店)…県内で新型コロナウイルス新変異株の感染者が広がらなければ、3月はお彼岸の月に入るので仏具類の需要も増す。したがって、景気も上向きになるとみている。
- (電気機械器具製造業)…今後は新規開発製品が増える見通しで、技術系設計者を増やして対応していく。徐々

に事業が拡大し、景気が良い方向に向かうと考えられる。

(輸送用機械器具製造業) …受注量回復の兆しがある。

(民間職業紹介機関) …何社からか4月以降に人員数を増員する話がきている。

○「変わらない」

(スーパー) …新型コロナウイルス新変異株が年明けに流行するかによって、販売量が左右されると考えている。

(衣料品専門店) …新型コロナウイルス新変異株も徐々に広がりを見せつつあるなか、今後も慎重な行動をとる消費者が多くなるとみている。

(家電量販店) …新型コロナウイルス感染症対策のため、来客数が伸び悩んでいる状況があり、当面は横ばいの状況が続くとみている。

(その他非製造業[飲食料品卸売業]) …新型コロナウイルス新変異株が猛威をふるうことはないと考えている。新規感染者数が医療を圧迫しない程度に抑え込まれていれば、ビジネスや観光の人の移動は現状を維持できると考えている。

(新聞社[求人広告]) …新型コロナウイルス新変異株出現の影響が分からないが、広告の引き合いも活発ではない。多くの企業が先行きに迷いを持っているため、慎重になり積極的に動かないようである。

○「やや悪くなる」

(商店街) …現時点では好調な来客数だが新型コロナウイルス新変異株の影響が心配である。

(一般小売店[酒]) …新型コロナウイルス新変異株が流行の兆しをみせ始めたことが、どこまで経済に影響を与えるのか不透明なところではあるが、このまま上向きが続くとは考えづらい。

(一般レストラン) …これまで外出を控えていた人が11~12月になり出てきたという状況だが、春くらいにはまた新型コロナウイルス新変異株などの影響が懸念され、今よりも落ちていくような予測をしている。

(観光名所) …テレビで新型コロナウイルスの感染拡大状況が報道されるにつれ、客が減ってくるというのが今までの傾向である。この先、新型コロナウイルス新変異株の感染状況がどう変化していくかで来客数も変わってくる。どちらに転ぶか分からず判断が難しい。Go Toキャンペーン等の対策を期待しながら待っているところである。国の対策が何かなければ伸びていく要素はないとみている。

(食料品製造業) …国内で新型コロナウイルス新変異株の発生が相次いでおり、年明けには多少なりとも経済活動に影響を及ぼしそうである。

(輸送業) …予想どおり新型コロナウイルス新変異株の感染が少しずつ拡大している。感染拡大はやはり大きなマイナス要因の1つになる。また、原油価格も一時期より安くなったとはいえ、我々業界からすればまだまだ高止まり状態であり、依然として厳しい経営環境である。

(職業安定所) …原油高、物流コスト高に加え、労働市場の停滞による採用コスト高と、収益を圧迫する要素が増えている。

○「悪くなる」

(農林水産業) …今後、新型コロナウイルス新変異株による新規感染者数増加で、米の需要が減少し、更なる米価下落が予想される。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上